

平成 28 年度第 2 回佐渡市将来ビジョン等策定・推進本部会議 会議録（概要）

I 会議の名称 佐渡市将来ビジョン等策定・推進本部会議

II 開催日時 平成 28 年 9 月 30 日（金）午後 5 時 30 分から 6 時 30 分まで

III 場所 佐渡市役所 3 階 大会議室

IV 議題

1. 佐渡市将来ビジョンの見直しの方向性について

2. 今後のスケジュールについて

3. その他

V 出席者

三浦市長、伊藤副市長、児玉教育長、池町総合政策監、原田会計管理者、渡邊総務課長、源田行政改革課長、安藤世界遺産推進課長、池野財務課長、加藤地域振興課長、本間交通政策課長、中川市民生活課長、坂田税務課長、鍵谷環境対策課長、後藤高齢福祉課長、伊藤農林水産課長、大橋観光振興課長、市橋産業振興課長、清水建設課長、野尻上下水道課長、中川消防長、小路両津病院管理部長、計良監査委員事務局長、佐々木農業委員会事務局長

事務局（総合政策課）：渡辺課長、本間補佐、岩崎室長、谷川係長、岩野主任

VI 会議の概要

●開会・本部長（市長）挨拶

佐渡市将来ビジョンは市政運営における最上位計画である。平成 31 年度の予算規模、財政計画そのものは現行よりも上方修正されることになるが、今後さらに厳しい状態となることが推測される前提で見直し作業を進めてもらいたい。

大きな部分は、持続可能な循環型社会実現による経済活性化であり、極力行政の財源は島の中で循環させる方向に主眼に置いて、諸々各部門の計画を組み立ててもらいたい。これを踏まえて方向性を修正したうえで、作業を進めてもらいたい。

●議事

1. 将来ビジョンの見直しの方向性について

【主な意見】

【第 2 章 財政計画】

（総合政策課長）

予算規模が上ぶれするが、財政が楽になるということではなく、交付税の削減等の方向もあることを理解しなければならない。

（上下水道課長）

将来ビジョンの平成 31 年度以後の計画の策定が必要ではないか。

（総合政策課長）

その後の計画は行政改革や財政計画も含めて平成 29 年度、30 年度に向け、この見直しの後で再度議論が必要。

【第5章 持続可能な循環型社会の実現に向けた経済活性化戦略】

(交通政策課長)

人・物に係る航路運賃の低廉化による交通ネットワークの充実となっているが、これに限定しているわけではないので、表現の検討が必要。

(総合政策監)

低廉化等によるとしてはどうか。

(農林水産課長)

佐渡市発注の物品調達など市内業者の受注しやすい仕組みづくりについて、方向性としてはその通りだが様々な問題があるので、しっかり議論が必要。

(総合政策課長)

各課の業務委託の中で、実は島内でできるのに島外に業務委託に出している事例がある。公共事業を全部島内で発注するのは難しいところでもあるが、今まで異なった対応をとっていた各課の意識を統一していくことも重要である。

(農林水産課長)

先進地の事例などを参考に作る必要がある。

(市長)

島の環境美化をどこかに記載できないか。

(観光振興課長)

環境美化は、「交通ネットワークの充実」の道路の整備のところで記載している。

以上